

1-3. 受託調査研究

④5) 八王子市における緑と農のエリアマネジメントに関する検討調査

委託者：国土交通省都市局公園緑地・景観課

1. 目的

都市の緑とオープンスペースが発揮している自然とのふれあい、ヒートアイランド現象の緩和、景観形成、生物多様性の確保等の多様な機能は、都市と緑・農の共生が実現された都市など、これからの目指す都市像の実現に向けた社会資本としてのその重重要性が高まっている。特に、緑とオープンスペースが一定程度確保された地域においては、都市公園に加え、民有緑地、農的土地利用との柔軟な連携による総合的な緑のネットワーク化や、総合的なまちづくりの一環としてマネジメントに取り組むことが必要となっている。

東京都八王子市では、森林や農地の管理が十分に行き届かないことで荒廃が進んでいることから、開発との調和を保ちつつ、適正な配置方針に基づく緑の保全と創出や、身近な緑の保全のための市民や事業者とともに行動する仕組みづくりが必要となっている。また、農地については、宅地化の進展による営農環境の悪化や遊休農地の増加や担い手不足等の課題に加え、単に農産物等の供給だけでなく、国土や環境の保全、自然とのふれあいを通じた教育の場の提供、地域色豊かな伝統文化の継承等、多面的機能を有しており、水田や農地の景観維持等が不可欠となっている。

上記のような緑や農に関する課題等を踏まえ、本業務では、都市内の緑のストック（都市公園、民有緑地及び市街地及びその周辺の農地について、管理目標や方針を管理者や地域住民等が共有するとともに、それらが連携した管理運営（マネジメント）方策について検討し、提案することを目的とした。

2. 業務の概要

(1) 八王子市における緑の賦存状況及び管理実態等の調査

①実態調査

八王子市における都市公園、民有緑地（各種規制等により保全されているもの）及び市街地及びその周辺の農地（以下「農地」という。）の賦存状況を把握するとともに、それぞれの緑について、管理主体（又は所有形態）、管理方針、管理に関わっている団体の有無について、既存資料等をもとに把握した。このうち、主要な都市公園、特別緑地保全地区及びこれらに近接する一定規模の農地について、現地調査及び公園管理者又は指定管理者等に対するヒアリング等を行い、管理運営実態を把握行った。

②計画等との整合調査

緑の基本計画等の緑の整備・管理・運営に関する計画等を収集するとともに、計画上の整備管理方針と管理実態との照合を行い、計画段階と管理段階の相違等の課題を抽出した。

(2) 多様な緑を連携させた管理運営（マネジメント）方策の検討

①モデル地区の抽出

(1) の調査結果をもとに、都市公園、民有緑地及び農地といった多様な緑が地域内に一定程度賦存し、かつ、当該エリアにおける緑のネットワーク化に係る方針が策定されているなど、管理運営方策の検討対象となりうる地区を複数抽出した上で、本調査でのモデル調査の対象地区を一箇所抽出した。

②管理運営（マネジメント）方策の検討

都市公園、民有緑地及び農地を柔軟に連携させた緑の管理運営（マネジメント）方策について、行政担当部局や有識者へのヒアリング及び都市公園の指定管理者や関係団体（緑地保全等に取り組む NPO 等）等へのアンケート調査等を行うとともに、当該地区や地区内の緑地の管理方針等を整理し、その結果をもとに検討を進めた。

(3) 地域住民等への普及啓発

今後、当該モデル地区において都市公園、民有緑地及び農地を柔軟に連携させたマネジメント方策を実現していくにあたり、地域住民等に対する普及啓発を進めるための行政、地域住民等からなる懇談会を2回程度開催するとともに、次年度以降の展開方策についての検討を進めた。